

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法				
学共122	[木3]文講201		100	抽選対象				
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等					
2025	後学期	木3	国際地域創造学部国際地域創造学科					
講義コード	科目名[英文名]		単位数					
g00017002	日本経済入門		2					
担当教員[ローマ字表記]								
瀬口 浩一								

授業の形態

講義、演習又は実験、実務経験講師

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、学生が文献や資料調べる

授業内容と方法

私たちの日常生活は「日本経済という器の中にある」と言っても過言ではありません。日本経済が好調なら、私たちは経済的により豊かな生活を送ることができますし、世の中の雰囲気も明るく感じられるかもしれません。経済環境が安定していれば、私たちの生活も安定することになります。

しかし、今日の日本経済は、急速に進む「少子・高齢化と人口減少」「経済のグローバル化」「デジタル化」「国際情勢」などの影響を受け、それらの環境変化にどう対応するか、大きな転換期の真っ只中にあります。企業活動・産業構造と生産性、人手不足と雇用問題、過疎と過密の問題、公的な年金・医療・福祉などの社会制度の持続性、社会インフラの更新、莫大な財政赤字、税制度の見直し、貧困や格差、教育環境のあり方など、日本経済のあらゆるパートが環境変化への対応を求められています。

講義では、①「これまでの日本経済の変遷」を押さえた上で、②「日本経済の今日的な課題」を理解し、③「日本経済の全体像」を掴みます。そのなかで「沖縄総合事務局によるRESAS活用講座」「株式会社リクルートによる講演」「財務省及び沖縄総合事務局財務部による講演」「沖縄国税事務所による租税講演」「総務省統計局による講義」も実施し、幅広い視野から日本経済を理解します。講義は、原則として対面形式（一部、オンライン形式の可能性あり）で実施し、講義資料は適宜、WebClassにて配布します。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、情報リテラシー、問題解決力、専門性

達成目標

日本経済の変遷と今日的な課題を理解することで、日本経済への関心を深めることが目標です。【自律性、専門性、社会性、問題解決力】

評価基準と評価方法

授業への積極的な出席とともに、次の2点について採点・集計し、100満点に換算することで最終的な評価を行います。

①学期末に実施する定期試験（65%）

②講義時間内に提出する「沖縄総合事務局によるRESAS活用講座」「株式会社リクルートによる講義」「財務部・沖縄総合事務局による講義」「沖縄国税事務所による租税講演」「総務省統計局による講義」の5回のコメントシート（35%）

※外部講師による講義が4回の場合、①の定期試験（70%）、②のコメントシート（30%）の割合で評価します。

履修条件

特にありませんので、講義をきっかけに「日本経済の行方」と考えてみるなど積極的に講義に臨んでください。

授業計画

下記の通り、講義を進めます（ただし、一部変更することがあります）。

- ① オリエンテーション
- ② 日本経済の様々な現状を知る
- ③ 【10月16日】「RESAS活用講座—データから読み取る地域の社会的課題ー」
(沖縄総合事務局経済産業部による講義)
- ④ 新型コロナウィルス感染症と経済活動
- ⑤ 日本経済が抱える今日的な課題
- ⑥ 【11月13日】「社会変化と労働市場の現状」
(株式会社リクルートによる講義 (担当: 内田 美和 様))
- ⑦ 【11月27日】「これから日本のために財政を考える」
(財務省及び沖縄総合事務局財務部による講義)
- ⑧ 【12月4日（調整中）】「税の役割と税制・税務行政の現状」
(沖縄国税事務所による講義)
- ⑨ これまでの日本経済の変遷（戦後から、高度経済成長まで）
- ⑩ これまでの日本経済の変遷（石油危機から、バブル景気まで）
- ⑪ これまでの日本経済の変遷（バブル崩壊から今日まで）
- ⑫ 地域経済と地方創生 1. 地域経済・財政を取り巻く環境変化・東京一極集中
- ⑬ 地域経済と地方創生 2. 地域経済のパフォーマンス（生産性）を考える
- ⑭ 【1月15日（調整中）】総務省統計局による講義
(政策統括官（統計制度担当）室国際統計管理官（予定）による講義)
- ⑮ 人口高齢化と社会保障
- ⑯ まとめ

事前学習

- ① 日本経済新聞などの新聞記事に目を通すことを心掛けみてください。日本の経済・財政の抱える今日的課題に関心を広く持つてほしいと思います。
- ② 講義では、配布した資料をもとに授業を進めますが、教科書は授業内容を理解する助けになります。授業計画や授業の進行状況をみながら、教科書を活用して事前学習を行ってください。

事後学習

- ① 「講義内容を理解できたかどうか」質問や疑問があれば、講義内に設ける時間や講義終了後に質問してください。
- ② 教科書を辞書代わりに活用するなど、上手く併用しながら事後学習を行ってください。

教科書にかかわる情報

教科書	書名	新入門・日本経済			ISBN -6	978-4-641-16635	備考
	著者名	浅子和美, 飯塚信夫, 篠原総一編					
	出版社	有斐閣	出版年	2024	NCID		

教科書全体備考

適時、講義中に伝えます。

 参考書にかかわる情報

 参考書全体備考

適時、講義中に伝えます。

 使用言語

日本語

 メッセージ

①経済・財政分野に触れる機会がこれまでなかった人もしっかりと内容を理解できるよう、専門的な用語などその都度、丁寧に説明することを心がけます。

②講義に関するお知らせ（休講を含む）は「WebClassのタイムライン」に掲載します。

③教材の2次利用（受講者本人以外への譲渡など）を固く禁止しますので、注意をお願いします。

 オフィスアワー

水曜日 5限（文系学部棟／研究室 526）

 メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

 URL